

標 題：

電気-油圧式クレーン装置の保守・点検について

# NKテクニカル インフォメーション

No. : 199

Date : 平成8年11月11日

関係船主、造船所 各位

本会船級船に搭載された電気-油圧式クレーン装置で、クレーン装置を起動後、無負荷で「下げ」操作されたジブが急に落下、破損する事故が数件報告されております。

事故当時の状況及び事故を起こしたクレーン装置の調査の結果、(1) 冬季低温時(-10℃前後)における不十分な暖機運転が電気-油圧系統の作動油の粘度を高いままとし、同系統が計画通り機能しなかったこと、(2) 電気-油圧系統の長期にわたる保守・整備不良による油圧モータの磨耗が同モータが不規則を引き起こしたこと、等が今回のジブ落下の原因としてと推定されます。

貴社の船舶に搭載されている電気-油圧式クレーン装置については、製造者の定める取扱説明書に従った運転準備及び保守・点検が確実に実施されているものと推察いたしますが、上記の事故に鑑み、以下の点について再点検し、必要なら、適切な措置をとるようご推奨申し上げます。

1. 冬季の低温時の運転に際し、十分な暖機運転の実施。暖機運転後、ジブ格納台付近にて無負荷のジブの「上げ」「下げ」操作を適当な回数実施することにより、運転準備を行う。
2. オイルフィルターエレメントの清浄、作動油の性状、粘度等の定期的なチェック、及び、必要なら、関連部品の取り替え
3. その他、製造者の定める取扱説明書に従った保守・点検

以上

# ClassNK

財団法人日本海事協会

東京都千代田区紀尾井町4番7号 102  
TEL: 03-3230-1201(代) FAX: 03-3230-3524